

原発の再稼働は許さない！核のごみを増やすな！

高レベル放射性廃棄物の

最終処分を考える集会

史上最悪の福島原発の事故により、未だに 10 万人もの人たちが避難し苦しんでいるにも関わらず、政府は 8 月から川内原発の再稼働を始め、原発依存の社会を続けようとしています。講師の NPO 法人原子力資料情報室の共同代表の伴（ばん）氏は、放射性廃棄物ワーキンググループの委員（委員長は増田寛也元岩手県知事）であり、原発に反対している現場の思いを理解したうえで委員会に参加し発言されている方です。最終処分場の場所については、岩手も候補地の一つと報道されており、伴氏にはその行方について最新の情報をお話いただきます。すでに大量に貯まり、避けては通れない核のごみ処分について、国の計画状況も知った上で、どうすべきなのか、まずは学習し考えあいます。多数のご参加をお願いします。

日時：**11月14日(土)** 13:30~16:00

場所：**岩手県公会堂 大ホール**

資料代 300 円



「再稼働で増える核のごみ どうするその処分！」

講師：伴 英幸さん

原子力資料情報室共同代表兼事務局長
総合資源エネルギー調査会原子力小委員会委員
放射性廃棄物ワーキンググループ委員

<集会内容>

13:30開会／13:35～ 映像にて核のごみ問題を分かりやすく概要説明 ／14:15～講演
15:35～質疑応答(休憩時間の中に質問カードで質問をお寄せください)／16:00閉会

主催：「高レベル放射性廃棄物の最終処分を考える集会」実行委員会（順不同 10月21日現在 40団体）

岩手県学校生協、盛岡医療生協、岩手県革新懇、岩手県農協労組、豊かな三陸の海を守る会、東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議、原発からの早期撤退を求める岩手県学識者の会、いわて食・農ネット、岩手県農民連、岩手県商工団体連合会、岩手県生活と健康を守る会連合会、岩手大学生協、日本民主青年同盟岩手県委員会、日本キリスト教団奥羽教区社会委員会・核燃料サイクル問題小委員会、原水爆禁止岩手県協議会、岩手県被団協、矢巾九条の会、平和憲法・9条を守る盛岡北部の会、平和憲法・9条を守る都南の会、城東地区9条の会、憲法9条を守る紫波町民の会、松園9条の会、「中津川9条をまもる」会、お産と地域医療を考える会、春を呼ぶ会、かねがさき放射能市民測定室、放射線被曝から子どもを守る会いわて、子どもに豊かな未来とふるさとを残す会、岩手有機農業研究会、クランボンの会、日本科学者会議岩手支部、岩手県保険医協会、岩手県民主医療機関連合会、岩手県自治体労働組合総連合、測る会、岩手県生協連、平和環境岩手県センター、岩手県労働組合連合会、岩手県消団連、三陸の海を放射能から守る岩手の会

お申し込み・お問い合わせ 三陸の海を放射能から守る岩手の会 636-3361（原田）・661-1002（永田）